

事業番号	05 05 02	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	保護対策事業費			担当	部局	環境部
				課	課・室	自然保護課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	3-2 豊かな自然環境の保全			実施期間	S46 ~
		2 自然環境の保全				

### 1 事業の概要

目指す姿	長野県の動植物の効果的な保護が展開され、絶滅の危険性が減少し、我々県民の生活基盤である生物の多様性が維持・改善される。 『生物多様性ながの県戦略』の中長期目標、『「人と自然が共生する信州」の実現』が達成される。 【希少野生動植物の保護回復事業計画策定種数:15種(平成32年度)】		
現状	長野県希少野生動植物保護条例による捕獲等の規制(指定種72種)、保護回復事業計画(9種)、認定保護回復事業(9事業)が実施 特定外来生物の普及啓発等を実施しているが、依然、開発、里山の放置、外来生物、温暖化などの影響により希少種を始め長野県の豊かな生物多様性が脅かされている。		
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	【左記の説明、根拠法令等】 自然公園法、生物多様性基本法、長野県希少野生動植物保護条例	

事業内容	① 成果目標(H24)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>希少野生動植物保護回復事業計画策定数(H24:1種策定、累計:10種)</li> <li>生物多様性保全活動協働事業実施種数(H24:1種実施、累計:6種)</li> </ul>				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		H25
			(当初)	(決算)	(当初)
	生物多様性確保対策事業	直接	11,248	10,228	6,111
	希少野生動植物保護対策事業	直接	794	433	737
	美ヶ原・霧ヶ峰自然環境保全事業	直接	219	185	258
	自然環境保全地域等標識板設置事業	直接	164	61	248
	自然探勝会事業	委託	600	543	600
	事務経費(経常)	直接	574	574	552
		合計	13,599	12,024	8,506

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	9,753	12,003	13,599	8,506
	補正予算			-1,125	851
	合計(A)	9,753	12,003	12,474	9,357
	国庫支出金	88	85	0	
	県債				
	その他( )	5,037	9,706	9,194	2,428
	一般財源	4,628	2,212	3,280	6,929
	決算額(B)	8,219	11,227	12,024	
概算人員数	職員数(人)	2.80	2.80	2.80	2.80
概算人員費(C)	23,122	23,122	23,122	23,122	
概算事業費(B(A)+C)	31,341	34,349	35,146	32,479	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
保護回復事業計画策定数	9	10	10	達成	11
生物多様性保全活動協働事業 実施種数	5	6	7	達成	7

目標に対する成果の状況	保護回復事業計画策定については目標通り進捗しており、計画に基づく取組が進んでいる。 生物多様性保全活動協働事業については目標を上回る種数について取り組みを実施した。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 希少野生動植物の保護対策については、生物多様性保全に向けて取組を充実・強化するため、目標で掲げる事業は現行通り実施することが必要。 特に協働事業で設定する年度別目標数値については、保全効果をより早く発揮させるため、活動団体やNPO等と協働実施しながら、なるべく前倒して達成するよう取り組みたい。
---------------------	---